

平成25年度

学校教育に関する意識調査の調査方法と結果(概要)

1 趣 旨

学校経営及び教育活動等に対する保護者の意見を調査し、今後の学校経営等の改善に資する。

2 調査対象

本校の全保護者（106人）

3 調査時期

平成25年12月16日（月）～24日（火）

4 回収された調査用紙と回収率

82枚（77.4%）

5 調査内容・項目

・大仙市学校評価共通項目（10項目）に示された学校経営及び教育活動等の実施状況について（全18問）

6 調査結果分析の観点

各調査項目の回答の肯定的評価を数値化し、グラフに表した。

●観点1 肯定評価の全項目平均の比較

H23年度	H24年度	H25年度
85.7%	87.8%	85.5%

●観点2 肯定評価の段階別項目数の比較（全18問）

	H23年度	H24年度	H25年度
90%以上	3	5	4
80%以上90%未満	13	13	9
70%以上80%未満	2	0	5
70%未満	0	0	0

●観点3 評価の数値が高い順

1	学校の教育活動・子どもの活動の様子を伝える	93.9%
2	教科指導での基礎基本確実な定着を図る取組	92.7%
2	校舎・耕地内の環境整備	92.7%
3	給食指導、うがい・手洗いなどの健康指導	91.1%

●観点4 評価の数値が低い順

1	将来への夢や目標、高い志を持たせる指導	79.3%
1	体力の向上についての取組	79.3%
1	夢や将来の希望をもったり、挑戦しようとする心の育成	79.3%
1	教職員の子ども理解	79.3%
1	不登校・いじめのない学校にするための取組	79.3%

●観点5 昨年度からの上昇率が高い順

1	教科指導での基礎基本確実な定着を図る取組	+5.1%
2	保護や地域意見・要望を生かすための取組	+3.0%
3	学校の教育活動・子どもの活動の様子を伝える	+2.8%

●観点6 昨年度からの下降率が高い順

1	教職員の子ども理解	-10.7%
2	体力の向上についての取組	-8.2%
3	将来への夢や目標、高い志を持たせる指導	-7.5%

平成25年度学校教育に関する意識調査結果について

過日お願いした「平成25年度学校教育に関する意識調査」の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

本校では、今年度も大仙市学校評価共通項目（10項目）に示された学校運営や教育活動等に関する項目について調査を行い、学校運営等の改善に活用することにしました。

結果の集計に当たっては、前年と同じように、回答の「よい、まあまあよい」を肯定的評価（プラス評価）、「少し不十分、不十分」を否定的評価（マイナス評価）としてグラフ化し、本校の「強み（特色）」と「弱み（課題）」が明らかになるようにしました。その結果、今年度は、全質問項目の肯定的評価の平均値が、85.5%となりました。

評価の高かった項目（肯定的評価が90%以上）は、

- ・学校の教育活動・子どもの活動の様子を伝える（93.9%）
- ・教科指導での基礎基本確実な定着を図る取組（92.7%）
- ・校舎・耕地内の環境整備（92.7%）
- ・給食指導，うがい・手洗いなどの健康指導（91.1%） でした。

また、昨年度に比べて上昇率の高い順を見ると、

- ・教科指導での基礎基本確実な定着を図る取組（+5.1%）
- ・保護や地域意見・要望を生かすための取組（+3.0%）
- ・学校の教育活動・子どもの活動の様子を伝える（+2.8%） でした。

この3項目は、昨年度もある程度の高い評価でしたが、今年度はさらに伸びが見られこれまでの取り組みが保護者の皆様から評価されたと考えています。

一方、評価のやや低かった項目は、

- ・将来への夢や目標，高い志を持たせる指導
- ・体力の向上についての取組
- ・夢や将来の希望をもったり，挑戦しようとする心の育成
- ・教職員の子ども理解
- ・不登校・いじめのない学校にするための取組

の5項目でいずれも79.3%でした。評価が低いといっても、これらについては肯定評価がほぼ8割となっていて、学校の取組に対し、一定のご理解はいただいていると解釈しています。これらの教育活動は、学校運営上の根幹をなす重要な要素であることから、本校ではこの5項目について、改善策を練り次年度の教育活動に活かしたいと考えています。

さて、この中で特に「不登校・いじめのない学校にするための取組」は、昨年度に引き続き、今年度も重点課題のひとつとして取り組んだ内容でした。上級生が下級生を世話をする「南っ子活動（ピアサポート活動）」や、クラスの満足度を調べる「Q Uテスト」の実施、「児童面談週間」の回数を増やして児童一人一人の思いをくみとる取組などが、保護者の皆様からご理解いただいていると考えることができます。

しかし、子どもの学校生活についてそのすべてを理解して指導するという事は、困難なことであり、教職員には子どもの生活や友だち関係にについて見えない面があることは確かです。

「いじめ」については「いじめは絶対に許さない！」という強い信念のもと、引き続きその未然防止と早期対応を徹底していきます。そのためにも、今後も保護者の皆様から情報を提供していただき、同じ歩調で指導を進めて生きたいと考えています。

学力の向上に関する3つの項目では、昨年度と同等かそれ以上の肯定的な評価をいただきましたが、特に「基礎・基本を定着させる指導の取組」については、昨年度の87.6%から+5.1%の92.7%と大変よい評価をいただきました。今年度は、専科による理科の指導や、学級担任の得意教科を生かした交換授業、算数の「コース別学習」、学び直しのための「フォローアップ強調月間（年3回実施）」等の取組についてご理解いただいたと考えています。

今回の調査では、この1年間の本校の取組に対して「自信」を得るような肯定評価をたくさんいただきました。しかし、私は、本校には改善を図らなければならない点がある、まだまだあると考えています。

一般に、職人さんの世界では、「『もう、これでいい』は、ない！」といわれます。これは、自分の技術をその職を辞するまで磨き続けなければいけないということです。

同様のことが私たち教師にもいえます。なぜなら「もう、これでいい」と思ったその瞬間から、学校は転落や衰退の道をたどるからです。ですから、当然のことながら学校には、常に水準を維持・向上し続ける努力が求められます。

太田南小学校は、成長する学校です！いや、成長し続ける学校です！しかし、どんなによい学校にも、必ず課題はあります。

私たちは、保護者の皆様や地域の方々の意見を生かしながら、一つ一つ課題を克服し、さらに燦然と輝く「コラボ・スクール」づくりに精進する覚悟です。

(文責：校長)